

学校 教育 目標	豊かな『感性』と確かな『学び』 【知】自ら学び、考え、ともに学び(高め)合う子どもを育てます。 【徳】さまざまな学習活動を通して感性豊かな子どもを育てます。 【体】健康で安全な生活ができる子どもを育てます。 【公】人と人、地域とのつながりを大切にする子どもを育てます。 【開】国際社会へと視野を広げる子どもを育てます。				
	学校 概要	創立 9 周年	学校長 近江 学	副校長 中村 英治	2 学期制
児童生徒数: 638 人		主な関係校: 山内中学校、山内小学校、元石川小学校、新石川小学校、(すすき野中学校、美しが丘中学校)			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自分らしさを表現する力 ○他者のよさに気づく力	山内中学校 山内小学校 元石川小学校 新石川小学校 美しが丘西小学校	・思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いに尊重し合って生活できる子ども ・豊かに学び合い、社会の一員として自ら判断し、責任をもって行動できる子ども ----- ・小中双方の公開授業を参観し合い、義務教育9年間を通して豊かな学びを実現する。 ・小中合同街頭募金等を実施し、思いやりや感謝の心をはぐくむ。 ・中学校ブロックの職員全員が参加する人権研修を開催して教師自身の人権感覚を磨き、互いに尊重し合って生活できる子どもの育成に努める。

中期 取組 目標	<p>じぶんだいすき、ともだちだいすき、ふるさとだいすき、びにし9(ビニシナイン)！</p> <p>○「子どもが主体的に学ぶ」授業への取り組みをさらに進める【知】</p> <p>○子ども一人ひとりの感じ方を大切にして、自分らしさを表現するとともに、他者を認め合うようにする【徳】</p> <p>○食や運動の大切さを知り、健康的な生活を送ろうとする意識を育てる【体】</p> <p>○保護者や地域、外部団体を積極的に受け入れ、人や地域とのつながりの中で学ぶ機会を増やす【公】</p> <p>○自己肯定感をもち、他者を受け入れられるようにする【開】</p>
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
重点研究	①研究テーマの具現化に向けた成果と課題が明確になる研究を推進する。(評価アンケート実施) ②研究テーマに即した職員研修を実施する。(授業を伴う研修4回、実技研修3回) ③「自分らしさを表現し、他者のよさに気づく子どもの育成」を目指し、ICTを活用した研究を進める。(ipadの活用)
担当 重点研推進委員	
健やかな体の育成	①バランスイーナワークなどで得た知識をもとに健康によい食べ方を進んでできるよう、学校、家庭の両面から食育を進める。 ②感染症対策ガイドラインに沿った活動を検討しながら、体力向上の実践を推進していく。
担当 食育推進・体育	
学校風土づくり	①美西タイム(縦割り活動)で各学年の実態に応じたためあて(目指す姿)を設定し、ふさわしい関わり方を学べるようにする。コロナ禍における安全な異学年交流を実施していく。 ②あいさつあふれる学校を目指し、子どもが主体的に取り組める活動を推進していく。(代表委員会の議題)
担当 特別活動	
特別支援教育推進	①児童支援専任(特別支援コーディネーター)を中心に、担任・保護者とのより密な連携を図り、特別支援教育を推進していく。(グループの活用) ②全職員が特別支援教育(インクルーシブ教育)の理解を深め、児童一人ひとりを支援していけるよう、特別支援教育研修を定期的に行う。
担当 特別支援教育	
地域協働推進	①学校運営協議会、地域協働本部、PTCA役員会、おやじの会、子ども会と連携し、地域の学習材を生かした学習を推進していく。 ②地域防災拠点訓練や防災教育を活用した、児童の防災意識を育てる。
担当 地域協働	
豊かな心の育成	①教職員と児童がめあてと振り返りを明確にして行事を実施し、資質・能力の育成に即した内容の精選を推進する。 ②学年ごとで共通意識を持ち、児童の自己肯定感を高める意図的・継続的な活動を行う。
担当 行事・道徳・人権	
担当	
担当	
いじめへの対応	①学級担任が一人で抱え込まないよう、様々な場で児童指導の情報共有を進め、学校全体で取り組む体制を作る。 ②教科分担任制を活用し、学年や専科、専任など複数の目で各クラスを見守るようにする。 ③定期的ないじめ・生活アンケートの実施、担任と児童の面談など、様々な方法を活用して学級や児童の様子を確認する。
担当 児童指導	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①メンティーの心配や疑問をもとに、教職員で学び合い、高め合う人材育成の仕組みを継続発展させていく。 ②教科分担任制(チーム学年経営)を推進し、子どもの学力向上と心の安定、教員の働き方改革を目指しながら、組織力と教師力を高めていく。 ③働き方改革推進担当と教務が連携し、働き方を分析し各種取組の効果を検証しながら改善していく。
担当 育成・チームマネージャー	